



動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 (鉄電) 千葉2935・2939番
(公) 043(222)7207番
FAX 043(224)7197番

2001.1.10 No. 5251

2001年 団結旗開き

二一世紀
疾風怒濤の時代へ

2001年団結旗開き



21世紀も動労千葉は総団結で闘うぞ!

中野委員長あいさつ要旨
△全ての成果を来年発揮
される結実の年
今年には組織拡大を導水路とし
て、この十数年間の苦闘の成果
が発揮される年だと確信してい
る。

二〇世紀とは一言でいって、
戦争と革命の時代だった。そし
て二一世紀はさらに疾風怒濤の
時代になる。世界で最も景気が
いいとされた米経済の破綻は現
実のものとなり、日本では九九
年頃から始まった財政のテコ入
れによっても何ひとつ改善され
ていない。二二年に経験したよ
うな大恐慌―戦争の時代に入
るのではない。今、通常国
会においても、戦後の憲法を変
える憲法改悪の動きが具体的に
始まろうとしている。今以上に
激しい闘志で立ち向かっていか
なければならぬ。

二〇〇〇年は、国鉄闘争が焦
点となった年だった。四党合意
をめぐって国労は産みの苦しみ
を味わっている。本場に闘う労
働組合になれるのかどうか、J
R連合との合流を策すものと、
闘争団との熾烈な闘いを、自分
たちの問題として、推移を見守
り闘ってきた。また、JR総連
の分裂・対立など大変なときに
突入している。われわれは、労
働組合としての原則―団結を守
ってこまできたことをお互い
に確認したい。

昨年末にかけて、JR総連革
マルが革マル本隊と対立する
という構図が発生した。分割・民
営化攻撃とは、単に国家権力が
推進したというのではなく、
動労がその手先となり、労働組
合の中に資本の意を通じて行っ
たからこそ強行された。これに
より総評も解散となったほど大

きなことだった。そして分・民
以降も、JR資本―国家権力と
結託して襲いかかってくるとい
う図式だった。強制配転、昇進
昇格、JR体制に全ての元凶
がある。それが大きく崩れ始め
た。崩壊の兆しが革マルの分裂
問題として表面化してきた。こ
こに闘いのチャンス、勝利への
展望がある。JR東労組の中で
怨嗟の声をあげている仲間達を
動労千葉の戦列に加えていくこ
とを、リアリティのあるものと
いう認識を持つべきときに来て
いる。

JR会社法改正案とは、分割
・民営化の完成をめざすものだ。
分・民後一三年以上もたって今
だ国鉄改革といっている。完全
民営化となっていないことがある
のか。差別・選別の攻撃が襲い
かかってくる。保守三部門の外
注化―シニア制度が出てきた。

新幹線敷設も出てきて、在来線
は第三セクター化となり、その
しわ寄せは働く労働者にくる。
大塚新体制とは、片方で一〇四
七名闘争を潰し、もう一方でJ
R総連革マルと手を切ることを
意図した体制だ。だからこそ、
五・三〇がきて、革マルが分裂
した。敵の矛盾の発現でもある。
決戦の時がきている。われわ
れは昨年、組合財産の保全を行
い、二一世紀に向かって新会館
を建設するなど、万全の体制を
構築した。われわれは、シニア
協定を拒否して唯一闘ってきた。
三名の仲間達が労働委員会闘争
に決起してくれ感激を新たに
した。こういう組合員がいる限り
動労千葉は健在だ。動労総連合
も新たに君塚新中央委員長体制
となった。今日、こうして動労
千葉があるのも、支援してくれ
る多くの仲間達があるからだ。

二〇〇一年団結旗開きが、一
月七日、DC会館において、組
合員・家族、多くの支援の仲間
一五〇名が集い開催され、二一
世紀の初頭、日本労働運動の再
生をかけて、動労千葉結成から
JR体制との対決を通して貫い
てきた、国鉄労働運動の復権を
全国に発信する記念すべき旗開
きとなった。

旗開きは、冒頭、登壇した本
部・中野委員長があいさつを行
い(要旨別掲)、続いて、君塚
新動労総連合委員長が、「九〇
年代半ばの日経連報告が答申し
た、二〇〇〇万人失業という時
代が現実のものとなってきてい
る。だからこそ労働組合の真の
力が試されている。JR九州労

組の崩壊にみられるごとく、わ
れわれの働き次第ではわれわれ
こそがその結核体になることが
できる。動力車労働組の再生めざ
して闘う」と抱負を表明した。

次に、来賓として、三里塚芝
山連合空港反対同盟・萩原事務
局長、NIT労組・宮内事務
局長、千葉県労協・粕谷理事
長、千葉県労働金庫本店営業部
次長、社民党千葉県連合・若松
副代表、新社会党千葉県本部・
長南書記長、足立まち子成田市
議、都政を革新する会・結城杉
並区議、婦人民主クラブ・西村
代表、そして動労水戸・木村書
記長、動労連帯高崎・和田山委
員長、三一書房労組・三角委員
長、中江船橋市議、水野勝浦市



動労千葉・中野委員長と動労総連合
君塚新中央委員長による鏡開き

プロ歌手によるアトラクション
も催され、会場が大いに盛り上
がった。

決意表明では、動労千葉争議
団・塩崎さんの、「動労千葉の
闘いこそが可能性を秘めている
われわれもひとりひとりが頑張
っている」と胸を揺さぶる決意
が表明され、支部を代表して、
幕張支部・山田支部長、木更津
支部・多田支部長、貨物から新
小岩支部・服部支部長、千葉機
支部・的場支部長が、二〇〇一
年闘争への決意を全体に明らか
にした。

前へ未来へ―団結固く―闘い
の道を―とどろくわれら国鉄動
力車―闘いへの勝鬨の音が延々
と館内から全国に発信された。